大切な心と体を守る

令和５年度 全校朝礼（7/20）　校長の話

こんにちは。

今日でいよいよ１学期が終了となります。振り返ってみてどうだったでしょうか。コロナによる制限も大幅に解除され、できることが一気に広がった１学期だったと思います。体育祭も全員が一丸となって今ではよい思い出になっているのではないでしょうか。その後、クラスの様子はいかがでしょうか。ますます結束力が高まっていることを願っています。そして、だれもが取り残されることなく、自分らしくいられる集団づくりを、これからも作り上げていきましょう。

さて、今日は皆さんに、大切な心と体を守るためのお話をしたいと思います。皆さんの心と体は、皆さん自身のものです。したがって、だれからも傷つけられたりしてはいけません。人と人の間のことを「距離感」といいますが、この距離感というものは人によって実は、違います。相手が、これくらい大丈夫だろうと思って近づいてきたとしても、自分にとって嫌だなと感じるときがあります。それは自分が悪いのではなく、ごく自然なことで、誰にでもあることです。

そして、自分の大切な心と体を守るためには、実は、この距離感が守ることが非常に大事になってきます。もし嫌な距離感だったとしたら、はっきり嫌だと伝えてもいい、ということをここでしっかりと覚えておいてほしいと思います。

例えば、性的な言葉を言ってきたり、体をさわってきたりする、これを「性暴力」といいますが、そのようなことがあれば、どんな相手であってもはっきり嫌だと声に出してください。性暴力というと体を触ることだけと思いがちですが、たとえばSNSなどで性的な言葉や画像を送ることも性暴力です。性暴力にあった人は体調が悪くなったり、嫌な気持ちになったりするだけでなく、自分が悪いのではないかと思ってしまうことがあるそうです。しかし、被害にあった人は決して悪くはありません。悪いのはやった人であり、それは絶対に許されることではありません。

もし、そのような被害にあったらすぐに、嫌だとはっきり声に出し、そして、その場から可能な限り距離をおきます。そして、家族や先生、養護の先生、スクールカウンセラーの先生など信頼できる大人の人に相談して、一人で抱え込まないようにしてください。

もし、その相手が学校の先生であったとしても同じです。皆さんを守るための法律も新しく作られました。この法律によって、性暴力をしてきた相手が学校にいる先生だった場合や、学校に話しにくい場

合には、学校以外にも相談できる場所を作られるようになりました。今日、皆さんに相談用紙を配布しますので、学校に相談しにくい場合はこの用紙に郵便で送ることができますし、また、用紙に書かれている電話番号やアドレスに連絡することもできます。自分でなくても、友達が性暴力を受けていると思ったときも同じように相談しにきてください。校長先生も先生たちも、皆さんの心と体を守りたいと思っています。そのようなことがあれば、ぜひ教えてください。

さて、重い話が続きましたが、最後に、とても嬉しかった話をします。

先日、ある女性が職員室を訪れて、ぜひお礼を言いたいとおっしゃいました。受けた先生が、なんのことか聞くと、その方、お年を召した方ですが、その方がご主人といっしょに、島忠のフードコートでお食事をとっていたところ、うっかり食事をばっと床に落としてしまったそうです。どうしようと困っていたところ、女子生徒３名がさっと近づいてきて、これを見事に片づけてくれたそうです。その方は、心から感激して、八中の３年生だと聞くだけで名前も聞きそびれたので、学校にお礼を言おうということでわざわざ足を運んでくださったということでした。あとで、この３名の女子生徒には校長室に来てもらい、その方がご持参くださった贈り物をお渡ししました。

人が困っているところを見逃さず、自分たちで出来ることを考えてすぐに行動に移す、これは出来るようでなかなか出来ないことだと思います。八中の中に、こんな素晴らしいことができる生徒がいるというだけで、とても誇らしい気持ちがします。前回の朝礼で「善因善果」という言葉を伝えましたが、善い行いは、困っている方を救うだけでなく、同じ八中の人全員の気持ちを良くしてくれるという結果をもたらしてくれました。もしかすると、皆さんの中には、ほかにも人に親切を施している人がいるかもしれません。「善因善果」の気持ちをもってこれからも善い行いを広げてほしいと思います。

さて、今年の夏休みは３９日間です。夏休みが終わったあと、皆さんがまた、今日のように元気に笑顔でここに集うことを願っています。生活リズムに気を付けて、健康を第一に過ごしてください。そして、学校ではできないような体験もたくさんして、よりいっそうたくましく成長していることを願います。先生の話は以上です。